

駐日アメリカ合衆国大使館特命全権大使

キャロライン・ケネディ大使 閣下

このたび、貴国がニューメキシコ州サンディア国立研究所において、今年9月4日と10月3日の2回、Zマシンを使用した核性能実験を実施していたとの情報に接しました。

近年、核兵器の非人道性を訴え、「核兵器禁止条約」の実現を求める市民社会の声も高まってきており、来年には核不拡散条約（NPT）再検討会議が開催されます。

今回の核実験の強行は、核兵器廃絶をめざして取り組む世界の人々の努力を無駄にする行為であり、核兵器廃絶平和都市宣言を行っている帯広市として、厳重に抗議します。

貴国におかれましては、あらゆる核実験を即時に中止するとともに、真摯に核軍縮に取り組み、「核兵器のない世界」の実現に向けた主導的役割を果たすよう、強く求めます。

上記抗議内容について、本国へ伝達されるようお願いいたします。

2014年11月14日

帯広市長 米沢 則寿